

第2 重点事業概要

南部地域における世代・分野を超えた包括的支援の推進

制度や分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を越えて、高齢者だけでなく、地域の住民一人ひとりが生涯にわたり、健康づくりを土台にして、病気や介護が必要となった時の事を心配せずに心豊かに安心して暮らせる地域を目指した活動を行った。

1. 全世代型健康づくりの推進 ～健康寿命の延伸～

健康寿命の延伸に向け、食、運動、禁煙など、生涯を通じた健康づくり、生活習慣病に対する予防の推進に向けた支援の強化を図った。

(1) 生活習慣病（糖尿病、たばこ、歯）対策の推進

- ・ 南部生活習慣病対策連絡調整会議
- ・ 地域職域連携推進事業
- ・ 南部地域歯科保健推進連絡調整会議

(2) 介護予防、地域リハビリテーション資源の充実

- ・ 介護予防・日常生活支援総合事業の推進の市町支援
- ・ 湖南圏域リハビリテーション専門職派遣調整事業の支援を通じた体制づくり

2. 誰もが安心できる地域医療の確保 ～医療機能の分化・連携～

2025年を見据え、将来の医療需要に則した医療提供体制を構築していくため、平成27年度に策定した南部圏域の地域医療構想の実現に向け、圏域課題の具体的検討を進めた。

(1) 地域医療構想の実現に向けた医療の機能分化と連携の推進

- ・ 湖南圏域地域医療構想調整会議の開催

(2) 災害医療体制の充実

- ・ 湖南圏域災害医療体制検討委員会の開催
- ・ 災害医療南部地方本部運営訓練の実施

3. 最期まで安心して生活していくための支援体制づくり

～在宅医療・介護連携の推進～

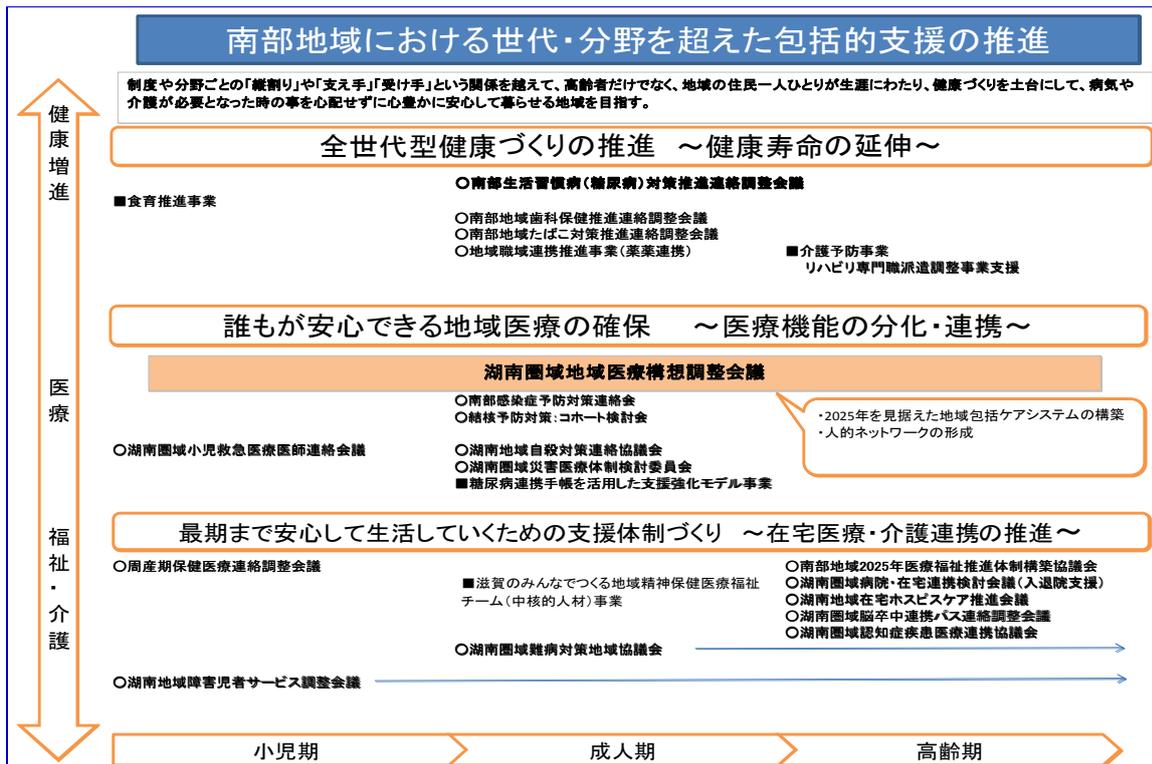
在宅医療・介護の充実により、安心して暮らすことのできる地域づくりを目指します。そのために、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、ケアマネジャー、介護士など多職種の連携や関係機関・団体のネットワーク強化を進めた。

(1) 在宅医療・介護連携の充実

- ・ 退院調整支援における病院と地域の連携推進
- ・ 難病対策地域協議会の開催

(2) 認知症対策の充実

- ・ 認知症疾患医療連携協議会の開催



感 染 症 対 策

感染症の拡大およびまん延防止のために、積極的疫学調査や健康診断を実施しました。また、施設等における感染予防対策のため、正しい知識の普及啓発を行いました。

1. 結核予防対策

平成29年は、結核患者39名、潜在性結核感染症患者18名の発生届出がありました。患者は高齢者が多く、重症化（結核菌の排菌あり）して診断される事例が後を絶ちません。

このことから、医療機関（病院・診療所）や高齢者が利用する福祉施設の職員等に対して、結核に関する正しい知識の啓発を図り、早期受診・診断による感染予防に努めます。

2. 感染症発生時対応

腸管出血性大腸菌感染症については、昨年11名の発生がありました。

感染症患者発生時には、積極的疫学調査を実施し、感染原因ならびに感染経路の解明を進めるとともに接触者の健康診断（検便等）を実施します。

また、インフルエンザや感染性胃腸炎等の集団感染が発生する時期を見据え、福祉施設や医療機関等に対し、予防啓発のための研修、指導助言を行いました。

3. 特定感染症検査(HIV等感染症)

全国的に潜在的な患者・感染者の増大が懸念されていることから、正しい知識の普及啓発、相談を実施しています。

HIV感染の不安を持つ者等を対象に、HIV、B型肝炎、C型肝炎、梅毒の検査を匿名・無料で実施しています。

4. デング熱、ジカウイルス感染症対策

デング熱、ジカウイルス感染症の発生時には積極的疫学調査を実施し感染経路を解明するとともに、国内感染が疑われる場合には市等と連携し感染源と思われる蚊の駆除など感染拡大を予防するための対策を講じます。

5. 感染症予防対策連絡会の開催

管内病院の感染管理認定看護師等の感染症担当者による連絡会を開催し、情報共有を図ることにより感染症の早期発見・治療を推進しました。

○ 結核患者発生状況

	平成27年	平成28年	平成29年
滋賀県	156	152	164
草津保健所管内	24	29	39

○ 腸管出血性大腸菌感染症患者発生状況

	平成27年	平成28年	平成29年
滋賀県	43	56	41
草津保健所管内	15	10	11

○ HIV検査件数

	平成27年	平成28年	平成29年
草津保健所実施	262	239	199

食中毒予防対策

食品に起因する事故の発生を防止し、食の安全・安心を守るため、次のことに取り組みました。

1. 計画的監視指導の実施

食品の製造・加工技術の高度化、輸入食品の増大など、食生活を取り巻く環境が大きく変化する中、食品の安全性を揺るがす様々な問題が生じ、食の安全・安心の確保が強く求められています。

滋賀県では、県民が安全に安心して食生活を送っていくために、平成21年12月に「滋賀県食の安全・安心推進条例」を制定し、食に携わるすべての関係者（県・関係事業者・県民）の責務と役割などを明記し、食の安全安心の確保の推進を図ることとしました。

またこれまでの「食の安全・安心アクションプラン」を見直し、最近の食を取り巻く環境を踏まえ「滋賀県食の安全・安心推進計画」（平成26～30年度）を策定しました。

この計画に基づき「滋賀県食品衛生監視指導計画」を策定し、監視指導等の事業を重点的、効果的かつ効率的に実施しました。

【参考】平成29年度食品衛生監視指導結果

		実施計画	実施結果
監視 件数	一斉監視	832	560
	その他	1,818	2,011
食品検査件数		183	185

2. 食中毒の発生防止対策

県内における平成29年度の中毒発生は14件、患者数179人でした。病因物質別ではカンピロバクター7件で全体の50%、ノロウイルス4件で全体の28.5%を占めています。

滋賀県では、ノロウイルスによる食中毒の発生を防止するため、ノロウイルス食中毒予防重点監視を実施するなどの対応をとり、調理従事者の健康管理の徹底および十分な加熱調理の実施について指導することにより、発生件数の減少に努めてきたところです。

多発しているカンピロバクターによる食中毒については、その原因は、未加熱または加熱不十分の食鳥肉を食べたために発生した事例がほとんどでした。

このことから、カンピロバクター等による食中毒の発生を防止するため、平成28年度からカンピロバクター等食中毒予防一斉監視を実施しており、飲食店に対しては鶏肉の生食の自粛を指導するとともに、消費者を交えた意見交換会等で、未加熱や加熱不十分な鶏肉のカンピロバクター汚染について啓発しています。

また、県内で腸管出血性大腸菌O157食中毒が2件発生しましたが、全国的にも腸管出血性大腸菌による食中毒が多発していることから、食肉等の十分な加熱調理および非加熱で食べる野菜等の十分な洗浄等の指導を実施しました。

今後も引き続き、食品衛生意識の向上と衛生管理の徹底により予防を図るとともに、食中毒事故発生時における被害の拡大防止と事故の再発防止を図ります。

【参考】平成29年度の食中毒発生状況

	発生件数	原因物質
管内	2件	カンピロバクター（2）
全県	14件	カンピロバクター（7） ノロウイルス（4） 腸管出血性大腸菌O157（2） 不明（1）

平成29年度組織目標評価

目標項目	目標値等（目標の内容）	達成状況（成果と課題）	達成度
<p style="background-color: #fce4ec; padding: 2px;">●健康づくりの推進 健康寿命の延</p> <p>予防を重視した健康づくりの充実強化</p>	<p>①連携強化に向けた会議等の場の設定 生活習慣病対策(糖尿病)対策連絡調整会議 3回(糖尿病、たばこ、歯)</p> <p>②質の高いケア提供のための人材育成の機会 生活習慣病対策研修等 3回(がん、糖尿病、歯)</p>	<p>①2025年医療福祉体制構築協議会開催 ・第1回(11/25)、第2回(3/23)</p> <p>②地域の多職種連携研修等、関係者の「場づくり」充実へ向けた取り組みの推進 ・各種団体等活動補助の実施(5ヶ所) ・地域包括ケア研修会開催 (3/16)</p>	○
<p style="background-color: #fce4ec; padding: 2px;">●医療機能の分化と在宅介護の一体的な</p> <p>地域力を活用した医療福祉推進体制の構築</p>	<p>①連携強化に向けた会議等の場の設定 医療・介護連携 計10回 ・地域医療構想調整会議 2回 ・2025年医療福祉体制構築協議会 2回 ・認知症疾患医療連携協議会 2回 ・病院・在宅連携検討会議 2回 ・在宅ホスピスケア推進会議 1回 ・難病対策地域協議会 1回</p> <p>②地域の多職種連携研修等、質の高いケア提供のための人材育成の機会 ・在宅医療 ・認知症 ・脳卒中</p>	<p>①連携強化に向けた会議等 … 13回 ・地域医療構想調整会議 … 8/1、11/21 ・2025年医療福祉体制構築協議会 …11/13、3/23 ・ワーキング部会 … 1/25 ・認知症疾患医療連携協議会 … 7/28 ・病院・在宅連携検討会議 … 8/30、3/13 ・ワーキング …12/24、2/1 ・在宅療養を支える圏域検討会議 …12/22 ・リハ職派遣調整事業情報交換会 …5/11 ・難病対策地域協議会 …3/5</p> <p>②研修等 3回 在宅医療2/15、認知症3/15、脳卒中11/24</p>	◎
<p style="background-color: #fce4ec; padding: 2px;">●健康危機対応力の向上</p> <p>健康危機管理時の対応力の向上</p>	<p>①保健衛生講座開催 ・年30回 ・受講者1,000人</p> <p>②南部地域感染症予防対策連絡会の開催 ・年2回</p> <p>③湖南地域災害医療体制検討委員会開催 ・年2回</p>	<p>①保健衛生講座開催 ・年32回 ・受講者1,438人</p> <p>②南部地域感染症予防対策連絡会 …8/8、2/2</p> <p>③湖南地域災害医療体制検討委員会 …7/14、3/19</p>	◎